

細いごつと VS 太ごつと

(上演時間 約25分)

作・清田 明世

- 登場人物 (キャラクターイメージ)
 - ニンジン (痩せぎす)
 - ゴボウ (太っちょ)
 - ジャガイモ (明るいおばさん)
 - タマネギ (明るいおばさん)
 - サトイモ (明るいおばさん)
 - レンコン (明るいおばさん)
 - キャベツ (今どき女子高生)
 - ピーマン (今どき女子高生)
 - タケノコ (古きを重んじる女性)
 - 春菊 (古きを重んじる女性)
 - セロリ (西洋貴族)
 - ネギ (和風貴族)
 - トマト (ズバツと物言う女性)
 - キュウリ (トマトの彼氏)
 - 大根 (長老)

● あらすじ

本来の姿と異なる容姿に出来上がってしまった「細いニンジン」と「太いゴボウ」。見た目はチグハグだが、自尊心は健在。お互い「自分の方が優れている!」と思っている。譲れない二人はとうとうケンカになり、他の野菜たちに人気投票を行うことで決着をつけることに。他の野菜たちはどっちに味方する? 細ニンジンと太ゴボウの行く末は…。

それぞれの野菜の個性や、料理によって変わる相性。テンポの良い掛け合いが見所です。

ケンカばかりしてちゃ、見えないよね。相手のいいところ。

● パネル (別売り)

ニンジン、ゴボウ、ジャガイモ、タマネギ、サトイモ、レンコン、キャベツ、ピーマン、タケノコ、春菊、セロリ、ネギ、トマト、キュウリ、ダイコン (計15枚)

畑の一角。

ニンジンの声

ああー！ なんとということだ！

舞台袖から、ニンジンがさつと飛び出てくる。

ニンジン

なんでおいらこんな体になっちゃったんだ！

ニンジン

他のニンジンたちはちゃんとずんぐりむっくりになったのに。なんでおいらはこんなに細くなっちゃまったんだ。

もしかして…、おいらにくるはずの土の養分が、どこかへ…。

舞台袖から、太いゴボウが、汗を拭きながら、のっし、のっし、とやってくる。

ゴボウ

ふう〜。

どうしたというのだろうか。どうしてワシはこんな体になってしまったんだろう。

ゴボウ

ゴボウ、パタパタと自分を仰ぐ。

その様子を見ていたニンジン、ケンカを売る。

ニンジン

やい。そこの太っちょオバケ。

「ほう、辺りをキョロキョロ見回す。
やがて、自分のことかと気付く。

ゴボウ

はあ？

ニンジン

おまえだろう。

全身を見て、驚いたように。

頭を抱え、嘆く。

「どこかへ行ってしまうたに違いはない」と思う。

ニンジンは呆気にとられてゴボウを見る。

太りすぎて動くことがしんどい様子。

全身を眺め、諦めたように。

ムツとした様子。